

# 平成18年度予算に対する各党派の見解

## 改革、加速。

### 自由民主党・民社クラブ

平成18年度の一般会計予算は885億3300万円、実質20億1320万円の増となりました。特に、財源不足を補うための借金や預金の取り崩しをすることなく当初予算が編成できたことは、職員定数のスリム化や事業の委託化・民営化など徹底した行政内部の改革を進めてきた効果の表れと考えます。こうした財務体質の改善により、区民ニーズや社会状況の変化に的確に対応できる区財政の基盤が整備できました。

この結果、パトロールカーの配備など地域の安全対策、病後児保育、延長保育などの少子化対策、住宅の耐震補強など震災対策の充実が可能となりました。

わが党派は、人口減少や団塊世代の大量定年による経済の低成長が懸念される中、できるだけ次世代の負担を抑制すべきと考えています。中野の将来像を具体的に示した10か年計画が絵に描いた餅にならないよう、責任を持って区政運営をリードしていきます。

## 区民の期待する区政実現を

### 民主クラブ

平成18年度の一般会計予算は、三位一体改革への対応の為、財政調整基金への積み増しをする一方、職員数削減による人件費の抑制などの内部努力により、基金の取り崩しなしに予算を組むことができました。

厳しい財政状況の中、子育て支援では、病後児保育、休日・年末保育の拡充、私立幼稚園保護者補助金の増額、子どもの安全を守るため学校に防犯カメラ及び正門等施設システムの導入などが行われます。また地域

の長年の課題であった野方駅北口開設、上鷲宮地区計画の策定は評価します。

今後も行財政改革をさらに進め、少子高齢化や防災、危機管理体制の充実など喫緊の課題に取り組むべきであります。

10か年計画・施策などの実施においては情報提供の周知を徹底し、しっかりと説明責任を果たさなければなりません。区民・議会との協働連携を十分になされ区政運営に取り組むことを強く望みます。

## 開発優先から人間のまちへ

### 日本共産党議員団

「構造改革」と規制緩和政策が貧困と格差を拡大させています。中野区民一人当たりの所得は5年間で14万7千円も減少するなか、増税で区民7千人が新たに課税対象となります。国保、介護保険の負担も雪だるま式に膨らみます。06年度だけでも14億5千万円もの区民税の増収を見込みながら、中野区は区民を支援する手立てをとろうとしないばかりか、地域センターの廃止、7つの児童館の廃止、2つの区立幼稚園の廃止、8つの

の小学校と5つの中学校の統廃合をすすめる「10か年計画」を決定しました。

区は区民サービスを切り捨てる一方で、警大跡地等の調査費を今年も計上し、大規模開発のための「まちづくり基金」を設けるとともに、年度末には224億円の基金を溜め込みます。

日本共産党議員団は、区民生活と子育てを支援する予算の組み替え案を提案しました。区政の大本を変え、人間にあたたかい区政の実現に全力をつくします。

## 区政運営プロセスは丁寧

### 無所属の会

三位一体改革や都区財政調整の見直し等、財政不安定要因が多い中、職員の退職金や施設維持費が数百億円見込まれており、財政基盤の建て直しが急務です。

06年度予算で、基金残高が200億円超となったことは一定の評価をしつつも、一方で区民サービスの低下が懸念されます。区立幼稚園2園を廃止し、幼児総合施設への転換を発表する前に、まずは幼児教育・保育のあり方を区民と検討すべきでした。結論ありきの区

政運営プロセスの強引さは相変わらずです。さらに、協働という名の下に区民と行政のたれ合いの関係を生まれないよう、任意団体への補助金はゼロ・ベースで見直し、客観性・有効性を再検討すべきでした。また、人的配置の無いまま幼稚園、小中学校等への防犯カメラと施設システム等の導入は、子どもの居場所を閉鎖空間にしてしまいます。今必要なのは、教師の多忙感を解消し、子どもと向き合う時間を確保することです。

## 希望あふれる中野区の実現を

### 公明党議員団

平成18年度は、新たな10か年計画が実質的にスタートする年度です。当初予算は885億円余、平成17年度と比べ、約11億円、1.3%の増になっています。

財政調整基金からの財源対策をすることなく、予算の編成を行うことが出来たことは、健全な予算編成であり、行財政改革の取り組みの成果と評価致します。

歳出のうち、我が党派が要望し予算に反映された主なもので、子育て支援では、私立幼稚園保護者補助などが増額され、保育サービスも充実されます。安全安心施策では、小学校に防犯カメラや校内緊急通報システムの導入、避難所の整備や耐震診断助成が行われます。介護予防事業、ホテルの里構想策定、産業活性化、警大跡事業が推進されます。

10年後の希望あふれる中野区を実現するため計画を着実に推進すること、子どもの医療費助成を拡充し、学校などでの安全対策は、人的対応での実施を強く要望します。

## 財政再建への努力を評価

### 市民自治

06年度は、子ども達の世代のためにも「新しい中野をつくる10か年計画」を着実に進めていく大事な年度です。4年間の改革の取り組みの結果、13年振りの健全予算になりました。底をついていた基金を堅実に積み立て、学校などの建て替えや、三位一体改革などの国の制度の変化にも備えつつあります。次世代に大きな負担を残さないために、将来に備えた財政運営の考え方を評価します。

証書制度への参加など地球温暖化防止に向けた取り組み、高齢者虐待防止法施行による相談窓口の設置や緊急一時宿泊事業などの体制の強化が進みます。障害者自立支援法の施行に伴い重要となる地域生活支援事業には、区の積極的な取り組みを求めます。

安心できる中野をつくるために、区が目指す支えあいの地域社会の構築が重要です。区民の力による、新しい公共サービスの展開への区の役割を期待します。

## 閉会中の委員会の動き

平成17年12月～18年2月

### 総務委員会

- 1/18 議案1件を審査、要求資料1件を審査、報告4件を聴取
- 2/6 報告11件を聴取

### 区民委員会

- 1/23 報告9件を聴取
- 2/6 陳情1件を審査、報告5件を聴取

### 厚生委員会

- 1/27 報告9件を聴取
- 2/8 陳情1件を審査、要求資料2件を審査、報告8件を聴取

### 建設委員会

- 1/23 報告13件を聴取
- 2/6 報告7件を聴取

### 文教委員会

- 12/22 ぷりすくーる西五反田を視察
- 1/23 陳情12件を審査、報告2件を聴取
- 2/6 陳情12件を審査、報告11件を聴取

### 議会運営委員会

- 2/2 第1回定例会の日程などを協議
- 2/10 第1回定例会の招集日の確認や日程などを協議

### 財政制度調査特別委員会

- 2/9 報告3件を聴取

### 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会

- 1/30 山手通りおよび首都高速中央環状新宿線工事現場を視察

### 防災対策特別委員会

- 1/30 防災センターを視察、報告4件を聴取